

公表日

2025年12月20日

事業所名 こばんはうすさくら 小田急相模原教室

保護者等数(児童数) 19名 回収数 15件(割合78.9%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2		1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	2		2		利用人数はその日によって増減があります。職員配置につきましては、法令では4名程度（加配職員含む）の職員が必要です。当教室は法令で定められた人数よりも、1～2名以上多い職員配置を心掛けております。 安全面を考え、距離や人数に応じて複数スタッフでの送迎を致しております。直接療育に携わるスタッフの人員確保も大事ですので、安全と療育のバランスの取れた人員配置に努めていきます。 管理者の退職については、様々な理由がありますが、別の福祉事業に挑戦したり、新しい教室の管理者に挑戦したり、ここでの経験をもとに新規オープンに携わったりといったことがあります。業務についてはスタッフで分担し協力してやっており、残業なども少なく働きやすい事業所を目指しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1		2		お子様の様子に応じて、絵カードを用いたり得意とする能力を活用できる様努めています。教室内に段差はありませんが、つまづきに注意できるよう声かけや色分けで注意を促しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1		2		日々の清掃、消毒などお子様が安全に過ごせるよう努めています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15			1		お子様の様子を注意深く見てお子様の特性を理解できる様努めております。療育の場面だけでは、全て理解するのは難しいことかもしれませんので、ご家庭でのご様子なども面談時などにお伝えいただければ助かります。専門性についても随時研修などを行いスキルアップに励んでまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	2			毎日違う内容なのが嬉しいです。	活動プログラムについては、毎月LINEにてお知らせしております。同じような活動が続かないように考えております。取り入れてほしい活動があればお申しつけ下さい。 療育時間に制限があり平日は外出やお料理活動の機会が少なくなっております。外出や調理なども短時間でできるように工夫して平日の活動にも取り入れられるか検討していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	2	4	7	そもそも求めていることではないです 違う放課後デイサービスを併用していて、そのイベントでこばんはうすの先生や、利用日が合わなくなった仲間に会えて子供は喜んでいました。	グループの他教室と一緒に活動できる場を企画して、イベント時などで交流できるよう考えております。今後も他教室と合同で出来る活動を増やしていく予定であります。そのような活動の際には事前に周知いたします。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15			1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					支援計画は法律に則って、定期的に更新しております。その際、面談を通してご説明いたします。ご説明内容に不明な点などございましたらLINEや電話などで構いませんのでお知らせください。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	2	1	3	登校しづりが酷い時に相談したら、アドバイスいただき、ありがとうございます。研修会あるのかわかりませんがいろいろ相談ののってくださってありがたいです	ご家族様向けの研修は行っていますが、お困りごとやご相談は、LINEや電話でお受け致します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16					教室での様子も可能な限りHUGアプリや送迎時にお伝えするよう心がけます。主になって教室と連絡を取り合っている保護者様以外にも伝わるよう工夫をしています。普段関わっていないご家族様が参加できる、見学できるようなイベントも考えていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16					個別支援計画の見直しのタイミングでお困りのことなどあればお知らせください。その他、LINEや電話、送迎時などいつでもおっしゃってください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16					全スタッフがお子様、保護者様のことを一番に考えられるよう、研修や日々のミーティングの中で意識や療育の方向性を統一していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	1	8	夏の親子参加型の支援が楽しかったです。お盆に親も入れるイベントがありました。	父母の会などはありませんが、親子で参加できるイベントなどを継続して企画したいと思っています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1		1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					HUGアプリでのお知らせやLINEやお電話などでプライバシーに配慮しつつ、お気軽にご相談頂けるよう努力していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	2				個人情報に関しては、鍵のかかるロッカーでの保管をしています。HUGに登録している情報についても、職員毎に権限を設定し不要なアクセスが出来ないように配慮しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14			2		マニュアルについては教室に備えており、職員にも周知徹底していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15			1	避難訓練プログラムがありますが、利用日数が少ない子は全くやらないのかと不安になります。掲示物などで周知されていればよいと思います。	毎月、お子様も参加する形で防災訓練を行っています。ご利用状況によっては中々参加できないお子様もおられ、今後の課題となっております。職員は非常勤職員を含めて定期的に研修や訓練を行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15			1		こども家庭庁のガイドラインや安全計画に沿って安全に療育を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			1	かきむしりやおできをつぶしたような流血でも、引き渡しの際に連絡してくれて安心しています。	事故発生時には、その大きさに関わらず、迅速に保護者様や関係機関、スタッフ間に周知報告しております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	1				お子様が安心して楽しく通えるよう努めて参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13	3				お子様が安心して楽しく通えるよう努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16					

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表日

2025年12月20日

事業

所名 こばんはうすさくら 小田急相模原教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	12			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	7	音声だけでなく、写真や絵カードや文字の情報などを組み合わせて、お子様に伝わるよう工夫しています。	部屋の入口に標識としてのサインがあれば、トイレ、事務室、教室など、何の部屋が分かりやすくなる。絵カード等視覚情報の支援道具が十分に活用されておらず改善を考えています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		手洗い場・荷物置きなど、お子様の背丈に合わせた高さになっています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12		1人で気持ちを落ち着かせるための場所は必要と考えています。静養室や面談室など活用していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12		パートタイマーの職員はどうしても参加が難しいのですが、業務日誌や委員会、研修などで情報共有をしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		評価の内容は、全職員に周知して改善案を話し合っております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		毎日のミーティング、毎月の定例職員会で話し合っています。欠席者は業務日誌などで情報を共有できるよう工夫しています。	話し合いに参加できなかった職員に対しても、なるべく細かく伝える様にしています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		12	現在は行っていません。	外部評価を受けることが、サービスの質を向上し客観的な評価として保護者様の安心や信頼につながると考えています。評価を受けるための財源確保や人的、時間的な制約もあり、現在は検討段階です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12		毎月の月例研修会や本部研修などに参加しています。研修に出られなかった職員も伝達講習を行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12		毎月の活動プログラムを配布したり、5領域に区分した支援内容などをホームページで公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12		児童発達支援管理責任者が中心となって、職員に対して計画書の説明や療育方法の提案や相談をしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12		主にインフォーマルなアセスメントツールを使用したり、日々の様子をミーティングで話し合っています。	集団療育という性質上、フォーマルなアセスメントツールを用いるための時間が取れませんが、それに繋がる評価が出来るようスキルアップに励んでいます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12		計画書は、ガイドラインに沿って作成しています。お子様に合った支援を考えております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12		全職員で案を出したり、より良い活動になるように話し合っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12		毎月同じ内容が重ならないよう配慮しています。SNS等を活用し、他所での活動内容もヒントにしながら、新しい活動も取り入れています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	ミーティングに参加できなかった職員も業務日誌などで情報共有することで、日々の様子を把握できています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	ミーティングに参加できなかった職員も業務日誌を共有することで、日々の様子を把握できています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	その日のうちに記録をして全てのスタッフが見られるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	モニタリング時期に事前アンケートを取り、それをもとにモニタリングを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせずて支援を行っているか。	12	ガイドラインに則って、お子様の力を最大限伸ばせるように様々な活動を組み合わせています。	スタッフ間で勉強したり相談しながらガイドラインに沿った支援が出来るよう心がけています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12	自由時間に使えるおもちゃ、本など自発的に選べるように写真や絵カードも用意しています。自分でやりたいことを選べる仕組みを作っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	児童発達支援管理責任者などが参加しています。スタッフからも子どもの最近の様子などを聞き取って情報共有しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	各機関から相談があった際に、情報共有をしています。	地域の保健や医療とのつながりは薄いので、どうすれば連携できるか模索していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12	必要に応じて、学校などを訪問したり、電話などでの情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	12	就学に当たって、園などからも情報を聞き取って共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	12	就労や卒業する児童がいないのですが、将来を見据えた療育や保護者様への情報提供をしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	12	地域連絡会などに参加し情報共有しています。	センターとの連携は積極的には出来ていませんので今後の検討課題です。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	12	他の教室との交流機会を設けています。	地域との交流は少ないのが現状です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	12	神奈川県等の研修情報を得たり、座間市の地域連絡会へ参加しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	送迎時や電話連絡でお子様の様子を伝えられるよう努めています。	直接お会いする機会が少ない保護者様との情報共有の方法を考えていきます。相談の時間が足りない時などは別に面談の時間を提案していきたいと考えています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	教室全体としての研修は現在行っておりませんが、お困りごとなどあれば個別に情報提供やご相談を行っています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	契約時にご説明いたします。その他ご不明点などございましたらご連絡下さい。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	児童発達支援管理責任者が聞き取りをするとともに、送迎時の申し送り事項などで確認することもあります。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	児童発達支援管理責任者が説明を行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	ご相談があった際には、様々な方法で相談や面談を行っています。	
	40	文母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	12		年に1回は保護者様も参加できる企画を考えていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	保護者様との連絡用アプリを活用しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	法律に則って留意しております。新入職員についても個別に重要性について説明しています。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		12		夏休みに保護者様も参加できる企画を考えていますが、地域や商店街にも開かれた活動ができるか考えていきたいと思っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12		防災訓練を毎月行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12		法令で定められた研修や訓練を行って話し合っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12		面談時に聞き取りをしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12		軽度の食物アレルギーのお子様ご利用中ですが、特別に医師の指示書はないので、一般的なアレルギー対応をしています。職員にはご利用者様のアレルギーについての情報を共有しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12		事例が発生した際に話し合い、再発防止にも努めています。記録に残し職員間で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12		研修、委員会を開催しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12		記載してあります。	